

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

<https://yomikyo.or.jp/>

Dream Collaboration. 夢の競演。

俊英ヤマカズと鬼才ポゴレリッチが
世代を超えて共鳴する、貴重な2Days



©読響



IVO POGORELICH Piano

イーヴォ・ポゴレリッチ ピアノ

奇抜な解釈と型破りなスタイルで
世界を震撼させている鬼才

©Malcolm Crowthers

GRIEG

Two Elegiac Melodies, op. 34

SCHUMANN

Piano Concerto in A minor, op.54

DVOŘÁK

Symphony No. 7 in D minor, op.70

グリーグ：二つの悲しき旋律 作品34

シューマン：ピアノ協奏曲 イ短調 作品54

ドヴォルザーク：交響曲第7番 ニ短調 作品70



©読響



KAZUKI YAMADA Conductor

山田和樹 首席客演指揮者

モンテカルロ・フィルの芸術監督を務め、
ベルリンを拠点に欧州で活躍する俊英

©Zuzanna Special

Yokohama Minato Mirai Holiday Popular Series No. 117

Tue. 02.11 2020 14:00

Yokohama Minato Mirai Hall

読売日本交響楽団 第117回

みなとみらいホリデー名曲シリーズ

2020年2月11日(火・祝) 14時

横浜みなとみらいホール

S ¥7,600 A ¥6,600

B ¥5,600 C ¥4,100

Popular Series, No. 629

Thu. 02.13 2020 19:00

Suntory Hall

読売日本交響楽団 第629回 名曲シリーズ

2020年2月13日(木) 19時

サントリーホール

S ¥7,600 A ¥6,600

B ¥5,600 C ¥4,100

T. 0570-00-4390

読響チケットセンター

(10時-18時・年中無休/12/27-1/3を除く)

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成：文芸春秋 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

協力：横浜みなとみらいホール(2/11)

ピアノの超人ポゴレリッチが、 日本が誇るヤマカズと“夢の競演”

個性派ピアニストで現代最高峰の巨匠イーヴォ・ポゴレリッチが、約3年ぶりに読響に登場する。超人的なスケールの大きな音楽を操り、一切妥協の許さない音づくりを続けている世界的巨匠だ。今回は、シューマンの傑作協奏曲を弾く。この曲を15歳で初めて演奏したポゴレリッチは、「絶賛されたけど、満足の域に達していなかった」と長らく弾くことを躊躇していた。数年前に楽譜を読み直して、いくつもの新たな発見があったという。「自分の中で進歩を待つのに、40年はちょうどいい時間だった」と語るポゴレリッチは、熟成を経た解釈で作品の神髄に迫る。ダイナミックに展開される曲調は、オーケストラの各奏者に刺激を与え、誰も予想できない雄渾無比の響きを作り出すだろう。

指揮は、モンテカルロ・フィルの芸術監督兼音楽監督を務め、欧州で華々しく活躍している山田和樹。「ソリストとの共演では、自分の知らない音楽に出会える楽しみがある」と語るオープンマインドな若きマエストロは、今回も「ポゴレリッチさんとの初共演にワクワクしている」と胸を膨らませている。世代を超え、二人の才能がどんな次元で響き合うのか、大いに期待したい。

後半には、ドヴォルザークの交響曲第7番を披露する。ドヴォルザークがブラームスの交響曲第3番の初演を聴き、感銘を受けて作曲した交響曲だ。人気の第9番「新世界から」や第8番に隠れがちだが、緊密な構成と強い表現力を持つ、劇的で味わい深い逸品。完成度の高さでは、第8番や第9番を凌ぐほどとも言われている。山田は、ドヴォルザーク特有の民俗的な旋律を程よいバランスで奏で、情熱的なフィナーレでは、会場を興奮の渦に巻き込むだろう。山田の手腕で名曲から新たな魅力が生まれそうだ。



山田和樹 首席客演指揮者
KAZUKI YAMADA Conductor

国際的に活躍する日本のエース。2018年4月より読響首席客演指揮者を務める。1979年、神奈川県生まれ。東京芸術大学指揮科卒業。松尾葉子、小林研一郎の両氏に師事。プザンソン国際指揮者コンクールで優勝。BBC響を指揮して欧州デビュー、M.ブラッソンの代役でバリ管を指揮して絶賛された。ベルリン放送響、サンクトペテルブルク・フィル、フランクフルト放送響、フィルハーモニア管、ドレスデン・フィル、チェコ・フィルなどへ客演。17年にはコーミッシェ・オーバーにデビュー、好評を博した。スイス・ロマンダ管首席客演指揮者を経て、現在はバーミンガム市響の首席客演指揮者、モンテカルロ・フィルの芸術監督兼音楽監督、日本フィル正指揮者、東京混声合唱団音楽監督兼理事長の任にある。ベルリン在住。



イーヴォ・ポゴレリッチ ピアノ
IVO POGORELICH Piano

奇抜な解釈と型破りな演奏スタイルで世界を震撼させている鬼才。読響とは、2016年12月にラフマニノフのピアノ協奏曲第2番で共演し、絶賛された。1958年旧ユーゴスラヴィアのベオグラード生まれ。12歳で単身モスクワへ渡り、モスクワ音楽院で学ぶ。80年のショパン国際コンクールに出場し、個性的な演奏で議論を巻き起こした。本選に進めなかったことに抗議してマルタ・アルゲリッチが審査員を辞任するなど一大スキャンダルとなり、世界的に注目を浴びた。81年にニューヨークのカーネギーホールでデビューし、以後世界各地で公演を重ねている。ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ロンドン響、シカゴ響など一流楽団と共演。録音も数多い。現在はクロアチア国籍で旧ユーゴ内戦後の慈善事業にも力を入れている。

読響日本交響楽団 第117回 みなとみらいホリデー名曲シリーズ

2020年 **2月11日** (火・祝) 14時開演

横浜みなとみらいホール 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-6 Tel. 045-682-2020
S ¥7,600 / A ¥6,600 / B ¥5,600 / C ¥4,100

- 東急東横線直通・みなとみらい線「みなとみらい」駅 クイーンズスクエア横浜連絡口 徒歩3分
- JR京浜東北線・根岸線、横浜市営地下鉄「桜木町」駅 動く歩道からランドマークプラザ経由でクイーンズスクエア1階奥 徒歩12分

読響日本交響楽団 第629回 名曲シリーズ

2020年 **2月13日** (木) 19時開演

サントリーホール 東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥7,600 / A ¥6,600 / B ¥5,600 / C ¥4,100

- 東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ● 東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。
■ 都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。 ■ 未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休/12/27-1/3を除く

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド チケットぴあ 0570-02-9999 横浜みなとみらいホールチケットセンター 045-682-2000(11日) サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017(13日)